

国際法学会 2022 年度研究大会
公募（パネル）審査結果

2022 年 4 月 10 日
研究企画委員会

国際法学会の 2022 年度研究大会におけるパネルを公募してありましたところ、ご応募を頂き、誠にありがとうございました。研究企画委員会において審査を行いました結果、下記のように採用が決定されましたので、お知らせいたします（所属・地位は申請時のもの）。

記

(1) 「『ビジネスと人権』の理論と実践——『指導原則』の次の 10 年——」

企画責任者 瀧本正太郎（京都大学大学院法学研究科教授）

座長 瀧本正太郎（京都大学法学研究科教授）

報告者① 菅原絵美（大阪経済法科大学国際学部教授）

「国際法学から見た『ビジネスと人権』」

報告者② 的場朝子（京都女子大学准教授）

「国際私法学から見た『ビジネスと人権』」

報告者③ 金子匡良（法政大学法学部教授）

「憲法学から見た『ビジネスと人権』」

報告者④ 高橋大祐（真和総合法律事務所弁護士）

「実務法曹から見た『ビジネスと人権』」

(2) 「国際法上の文化享有権の歴史的定位——二風谷ダム訴訟判決から四半世紀」

企画責任者 藤本晃嗣（敬和学園大学人文学部准教授）

座長 小坂田裕子（中京大学教授）

報告者① 西片聡哉（京都先端科学大学経済経営学部教授）

「ヨーロッパ人権条約における文化多様性の保障」

報告者② 藤本晃嗣（敬和学園大学人文学部准教授）

「文化享有権の現在と未来」

報告者③ 齋藤民徒（関西学院大学法学部教授）

「二風谷ダム訴訟に見る文化享有権の多層性」

以上